

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございませす。

皆様方には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日頃から、かすみがうら市政に対する温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

早いもので私が3期目の市長に就任してから1年半が経過し、新年を迎えることができました。これまで以上に、市民の皆様から数多くの温かいご声援と力強いご支援をいただき、改めて、その市政に寄せる皆様からの期待と責任の重大さを身にしみて感じているところであります。

市政運営にあたりましては、引き続き、市民の皆様にご理解をいただき努力を尽くし、市民と行政が一体となった「協働のまちづくり」を取り組むことにより、魅力あるまちづくりが進むものと考えております。

かすみがうら市長

坪井透



健康まちづくり

さて、私は常々健康が第一であると考えております。近年は健康志向が高まっており、日々進化を続ける医療技術も相まって、今や日本は世界に名だたる長寿大国となりました。しかし、このような中でも、いつまでも健康で自立した生活を送れるようになることは、皆様共通の願いです。それには、病気になる前から治すのではなく、病気になる生活習慣が肝要です。

本市といたしまして、「健康まちづくり宣言」のもと、市民の健康寿命の延伸を目指した健康づくり事業を総合的に推進してまいります。

その事業の一環といたしまして、市民参加・体験型による「健康まつり」を開催するほか、本市と健康づくりに関する協定を締結している大学や病院、また、昨年度からは民間事業者とも連携を図り、運動や食育などの健康づくり事業を展開してまいります。

施設面では、廃校となりました旧穴倉小学校施設を利用し、複合型健康福祉拠点施設「かすみがうらエルネスプラザ」を令和2年度早期のオープンを目指して進めてまいります。この施設は全世代に対応する健康と福祉の拠点として、市内に分散配置された保健センターをはじめ、包括支援センターや社会福祉協議会、子育て

世代包括支援センターを新たに開設するなど、保健・福祉関係の公的機関を集約するもので、さまざまなコミュニティ形成のできる複合施設として整備いたします。

子育て支援

次に、子育て世代への支援につきましては、昨年10月から中学生以下医療費の実質無料化を実施しております。また、産前産後のサポート事業としまして、不安感が高まる妊娠初期から産後にかけて継続的にさまざまな相談に対応できるよう「母子保健相談員の配置」や「宿泊型産後ケア事業」など、妊娠初期から子育て期にわたり、切れ目のない支援の充実に取り組んでまいります。引き続き、出産祝い贈呈事業の実施や、令和2年度の新入学児童を対象にランドセルの寄贈を行い、安心で子育てしやすい環境づくりに進めてまいります。

小中一貫教育

次に、千代田中地区小学校の統廃合につきましては、「かすみがうら市小中一貫教育基本方針」に基づき、現千代田中学校施設の増改築を行い「義務教育学校」として、令和4年度の開校を目指し整備を進めてまいります。

学校施設整備

次に、下稻吉中学校の体育館整備につきましては、現敷地が手狭なことや避難所機能を有する施設として整備することから、昨年度に用地を取得したところから、令和2年度からは基本・実施設計業務に着手できるよう整備を進めてまいります。

交通網整備

次に、道路整備につきましては、石岡・かすみがうら広域幹線道路（東西縦貫道路）を、石岡市との共同事業により整備を進めてまいります。現在、概略設計において路線の確定作業を進めており、その後、地元説明会を実施する予定となっております。

また、土浦市と共同で整備を進めておりますJR神立駅西口整備事業につきましては、昨年3月に橋上駅舎と東西自由通路が全面供用開始となりました。引き続き、令和3年度の完成を目指してまいります。

企業誘致・地場産業の振興

次に、企業誘致につきましては、昨年10月に、新たな企業2社が本社機能を本市に移転され、首都圏からの誘致を実現いたしました。雇用の確保や税収増など多くの効果が期待されることから、先行投資施策としまして優遇制度の拡充を実施し、引き続き、積極的なトップセールスに努めてまいります。

さらに、元気な「かすみがうら市」を実現するためには、地場産業の振興を抜きには考えられません。関係団体の皆様方のご協力をいただきながらその振興に努めてまいります。市民の皆様には、どうか本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。年頭にあたり、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶いたします。

